

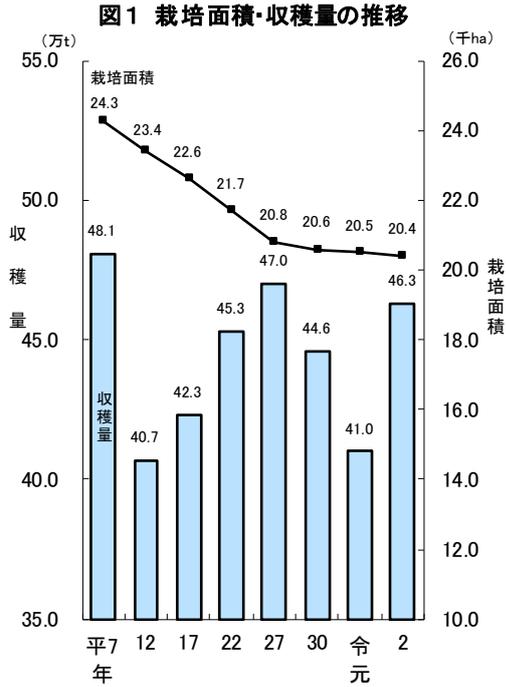
(4) りんご (生産)

～生産量は前年を上回る～

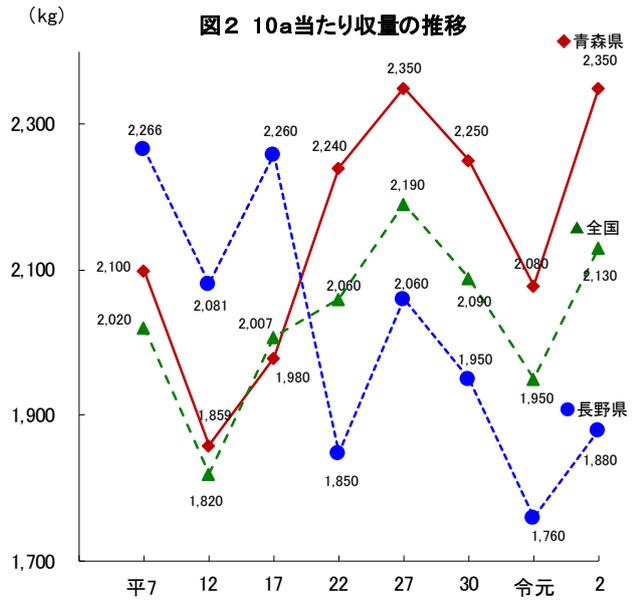
令和2年産りんごは、比較的好天に恵まれたことから果実肥大は平年並から平年をやや上回り、収穫量は前年を上回る46万3,000tであった(図1)。10a当たりの収量も、前年を上回り2,350kgであった(図2)。果実品質は、全般に良好であった。

品種構成は、「ふじ」が約5割を占め、「玉林」、「つがる」、「ジョナゴールド」、がそれぞれ1割程度となっている(図3)。

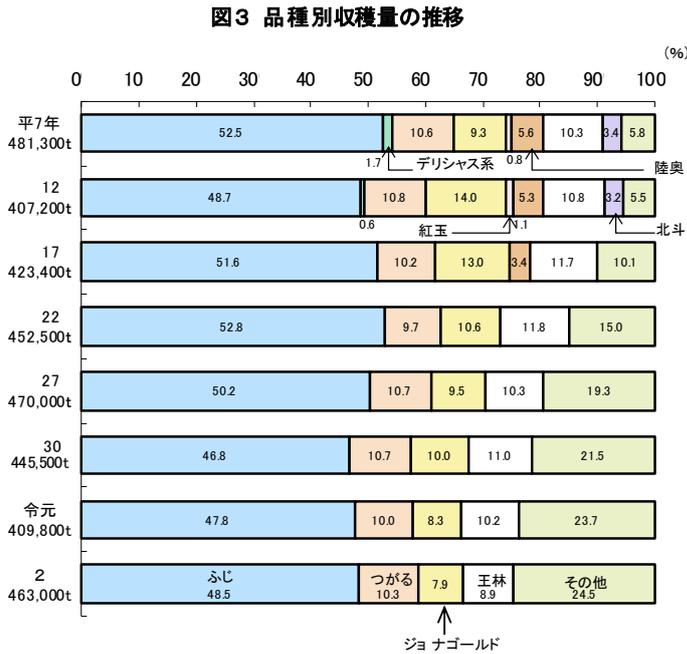
傾斜度別面積は、10度未満が約85%を占め、15度以上の急傾斜地は約6%となっている(図4)。



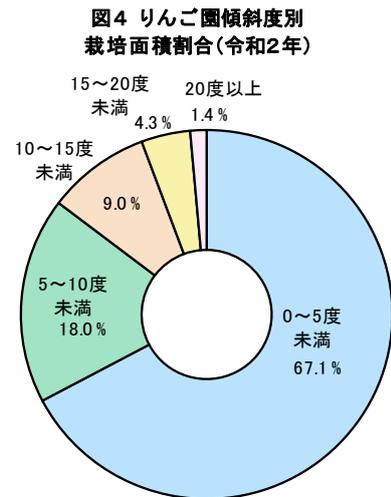
資料: 農林水産省 園芸作物統計、耕地及び作付面積統計



資料: 農林水産省 園芸作物統計、耕地及び作付面積統計



資料: 農林水産省 園芸作物統計、果樹生産出荷統計



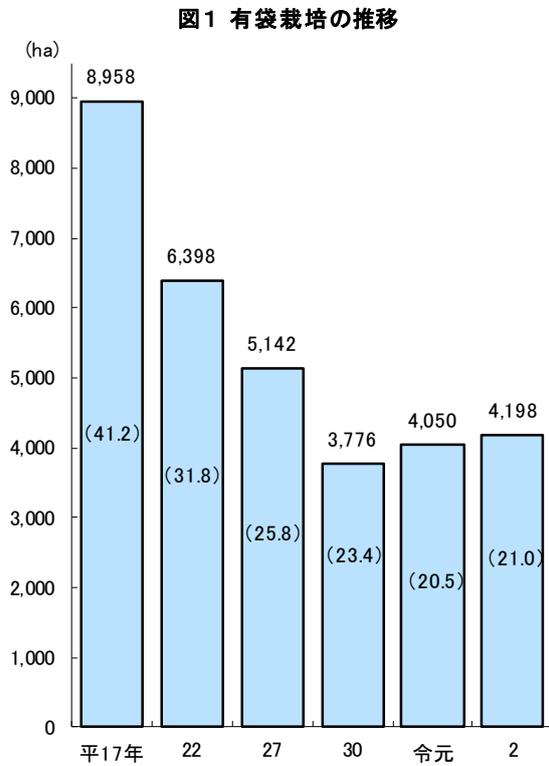
資料: 県りんご果樹課

(5) りんご (栽培方法)

～有袋率は21パーセント～

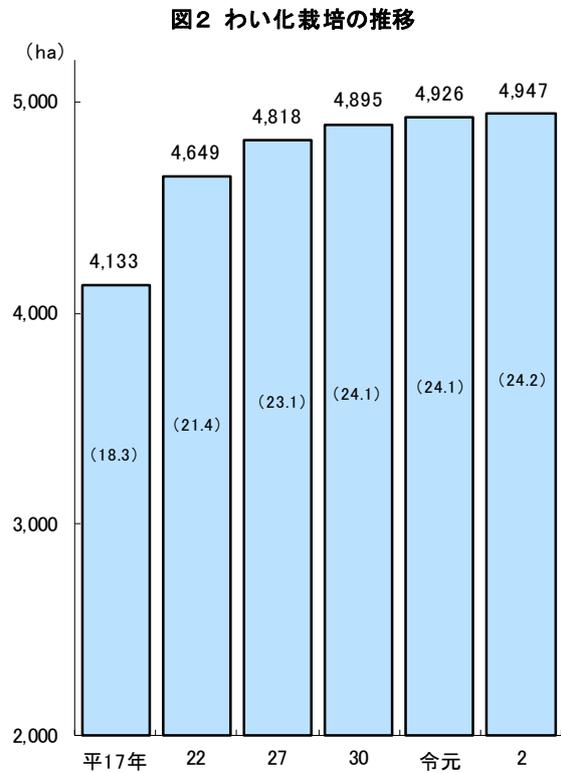
令和2年産の有袋率は前年に比べて0.5%増加し、21.0%であった(図1)。

令和2年産のわい化率は前年に比べて0.1%増加し、24.2%であった(図2)。



注) ()内は全栽培面積に占める割合(%)

資料: 県りんご果樹課



注) ()内は全栽培面積に占める割合(%)

資料: 県りんご果樹課

(6) りんご (流通)

～りんご販売額は6年連続で1,000億円を突破～

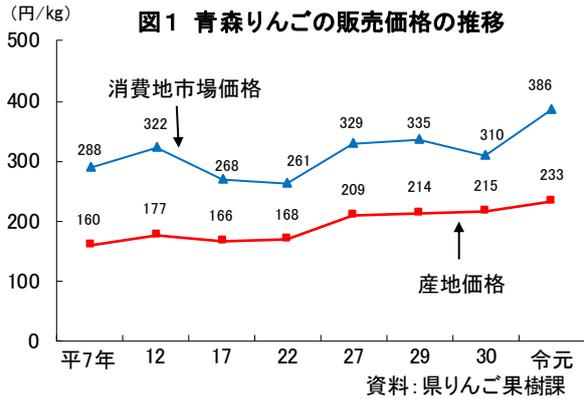
令和元年産りんごは、記録的な少雨と猛暑のため、小玉傾向で収穫量が少なかったが、着色が良好で糖度も高く、食味は良好であった。

産地価格は、1kg当たり233円で、入荷量が少ないことに加え、他県産りんごや競合果実が、天候不順や台風等の影響で生育遅れや品質の低下が見られたことから、品質の良い本県産りんごの引き合いが強まり、12月以降は大幅な高値で推移した。

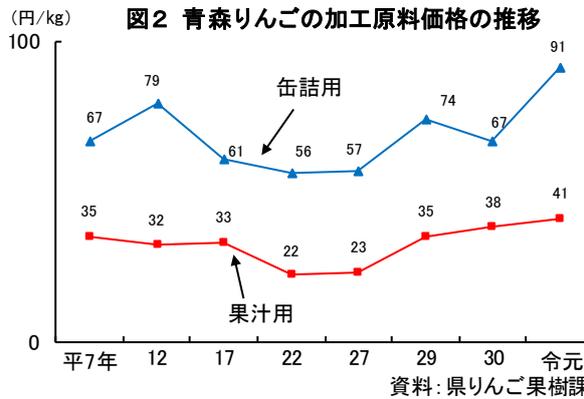
消費地価格は、1kg当たり386円で、12月末の在庫数量が少ない中、食味や品質が良好な本県産りんごの引き合いが強く、さらに新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う家庭向け需要も高まったことから、大幅な高値となった(図1)。

輸出量(全国値)は、3万1,772t、輸出金額は約128億円と過去3番目の多さとなった(図4)。

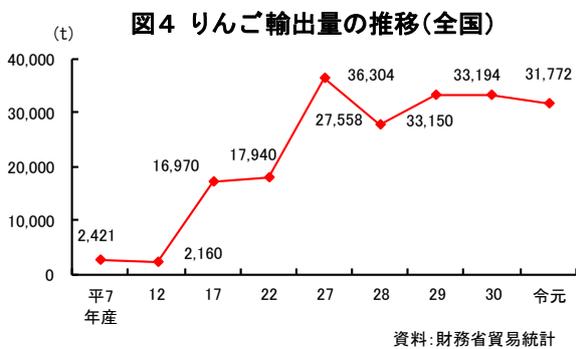
この結果、りんご販売額は、約1,098億円(前年対比109%)となり、6年連続で1,000億円を超えた(図5)。



- 注) 1 産地価格は、産地5市場及び県りんご商協連の主要組合員の平均価格(加重平均)。
2 消費地市場価格は、東京、大阪、名古屋、福岡、札幌の5市場の平均価格(加重平均)。



注) 一般社団法人青森県りんご加工協会分。(工場着値)



- 注) 1 平成7年産までは、輸出検査実績から集計した青森県産の輸出量。
2 平成7、12年産は、日本貿易月表の97%を青森県産として推計。

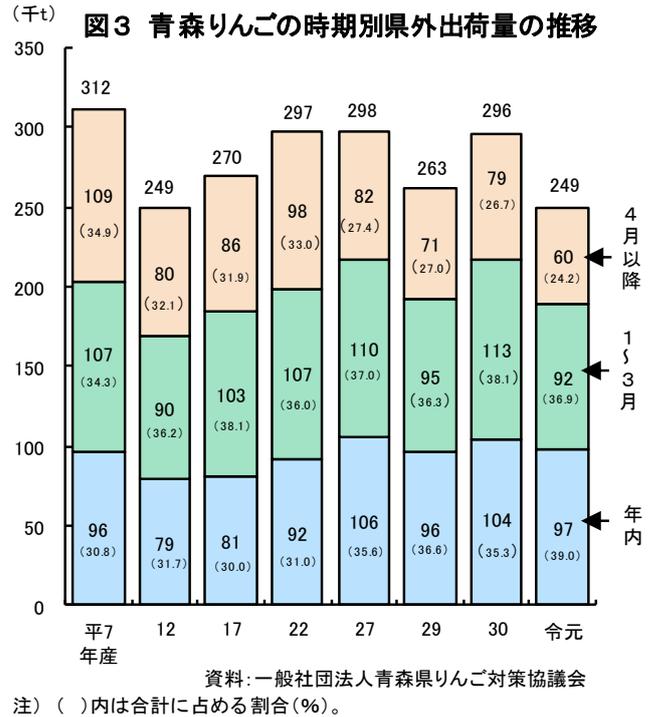
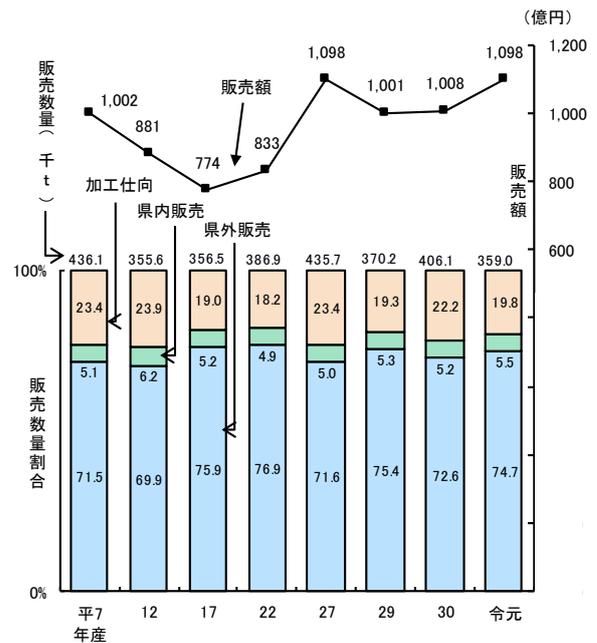


図5 青森りんごの仕向先別販売数量割合及び販売額の推移



(7) 特産果樹 (生産と流通)

～特産果樹の栽培面積は横ばい傾向～

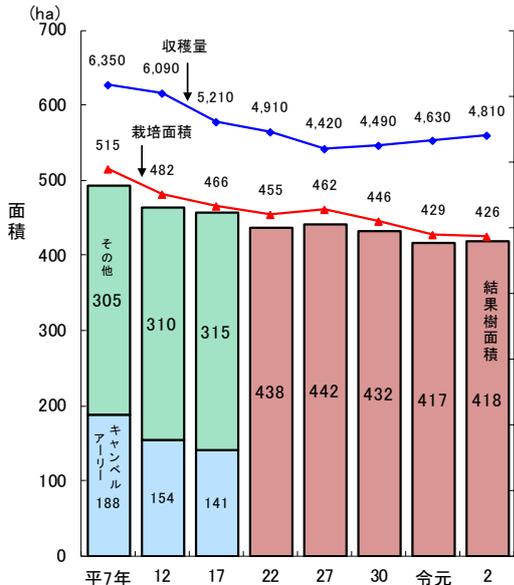
令和2年産ぶどうの栽培面積は426haで、やや減少傾向にある。近年の傾向として消費者に好まれる、高糖度、大粒、種なしの品種の栽培が増えつつある(図1)。

令和2年産ぶどうの収穫量は4,810tで、前年比104%であった(図1)。

ぶどう以外の樹種の栽培面積は、ももは増加傾向、その他は横ばい又は微減で推移している(図2)。

令和2年産の主要特産果樹の販売価格は、総じて前年を上回った。(図3-1、3-2)。

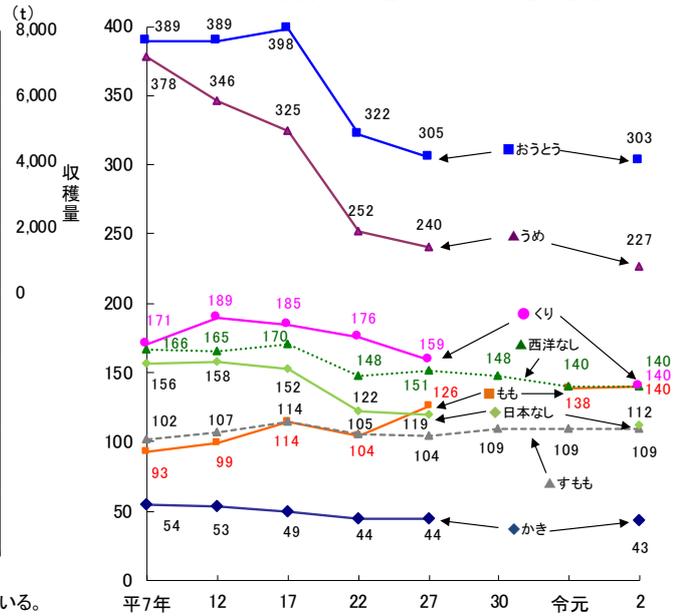
図1 ぶどうの栽培面積、結果樹面積、収穫量の推移



注)平成19年以降の結果樹面積は、品種別調査が廃止されている。

資料:農林水産省耕地及び作付面積統計、農林水産統計

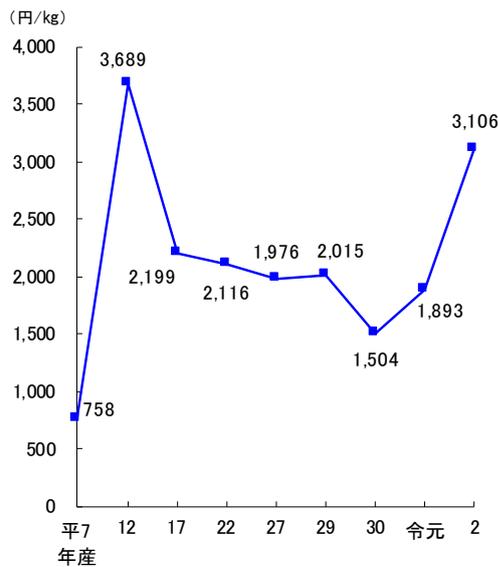
図2 特産果樹(ぶどうを除く)の栽培面積の推移



資料:農林水産省園芸作物統計、耕地及び作付面積統計
野菜・果樹生産出荷量年統計

注)全国調査は6年ごと実施。全国調査以外の年は主産県(全国の栽培面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び果樹共済事業を実施する都道府県)を調査。

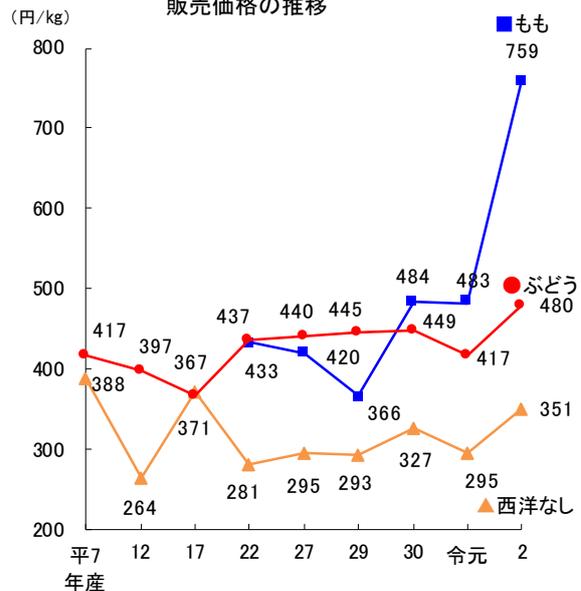
図3-1 県産おうとうの販売価格の推移



注)平成8年以降は、ハウス栽培を含む。

資料:東京都中央卸売市場年報

図3-2 県産特産果樹(おうとうを除く)の販売価格の推移



資料:東京都中央卸売市場年報